



桜だより

伊丹市立桜台小学校
校長 日外 亮



4月8日(月)は、着任式と始業式がありました。

1 着任式

最初に教頭先生が、転入生の3名を紹介しました。

はじめは3名とも大変緊張した面持ちでしたが、全児童から大きな拍手を送られると、少し表情も柔らかくなり、安心したように見えました。全児童で温かく転入生を迎え入れることができました。



次に、私から着任者を紹介し、その後、それぞれからあいさつがありました。

「あっち向いて、ほい」をしたり、クイズを出したり、連続二重跳びの挑戦状を出したり、けん玉を披露したり、着任者から個性豊かな自己紹介がありました。子どもたちは目を輝かせながら話を聞いていました。

2 始業式

「学校長の言葉」では、まず6年生に向けて、

- ・ 卒業式まで残り346日。桜台小学校の最高学年として、小学校生活の残り346日をいかに過ごすか。それは、6年生だけではなく、明日入学する1年生、そして2年生から5年生まで、後輩たちにとっても大変重要であること。
- ・ なぜなら、後輩たちは最高学年である6年生を目標としており6年生に憧れている。後輩たちは6年生の行動1つ1つを常に見ており、逆に言うと、6年生は常に見られている。
- ・ 後輩たちから、「あんなお兄さんお姉さんになりたいなあ」と思ってもらえるよう、自分の1つ1つの行動に責任を持ちましょう。

と伝えました。

続いて、「2年生も明日からは先輩。2年生から5年生にもそれぞれ後輩がいて、常に後輩から見られているということを忘れず、自分の1つ1つの行動に責任を持ちましょう。」と伝えました。

その後、後輩に見られていなかったら、手を抜いてもいいのか?と問いを投げかけ、「お天道様が見ているよ」についてお話をしました。

- ・ お天道様とは太陽の事で、神様に置き換えられることもある。
- ・ 誰も見ていなくても、お空の太陽(神様)はあなたの行動を見ているよ。
- ・ 例えば、「誰も見ていないから、これぐらいはいいじゃないか」と誤った行動をした時に、「お天道様(太陽・神様)が見ているから悪いことはしてはいけませんよ」という使い方をする事。
- ・ また、「お天道様」は自分自身に置き換えられる場合もあり、周りで誰も見ていなくても、自分の行動は、自分自身が必ず見ていること。
- ・ 誰も見ていないから手を抜くのか、誰も見ていないけど頑張るのか。その結果は自分自身に返ってくる。

最後には、これから先、何かに取り組む中で、「誰も見ていないから、このぐらいいいだろう」とか、「面倒だなあ、サボってしまいそうだなあ」と思ったときには、「今日の校長先生のお話を思い出しましょう。」と伝えました。「お天道様が見ているよ」。

3 新担任等発表

校長先生の話が飛んで行ってしまうくらい、子どもたちは盛り上がっていました!